

コロンビア月例報告（４月分）

外政・内政状況

2012年5月

コロンビア日本大使館

I 概要

【外政】

- 9～13日 第6回米州サミットの開催（於：カルタヘナ）
- 16～17日 イスラエル副首相兼防衛相のコロンビア訪問
- 18～19日 スペイン首相のコロンビア訪問
- 22日 中国共産党中央政治局常務委員のコロンビア訪問
- 24日 オルギン外相のハイチ訪問
- 23日 米国防大臣のコロンビア訪問
- 28日 フランス人新聞記者の誘拐・行方不明事件

【内政】

- 1～26日 バジェ県知事等の汚職問題
- 2日 FARCによる人質の解放
- 5日 ネバド・デル・ルイス火山活性化に対する噴火警報
- 9日 国内武力紛争における犠牲者に捧げる日
- 20日 左派リベラル運動（政党）の立ち上げ
- 26日 内閣改造

II 本文

【外政】

1 第6回米州サミットの開催

（1）14～15日、カルタヘナにおいて、第6回米州サミットが開催された。チャベス大統領、マルティネリ・ハイチ大統領、オルテガ・ニカラグア大統領が欠席、国家元首の出席は30カ国からとなった。成果文書は、キューバの将来的なサミット参加問題及びフォークランド（マルビナス）諸島領有権問題に対するアルゼンチンへの連帯表明を盛り込むかどうかにつき合意できなかったため発出されなかったものの、「第6回サミットに派生する権能」(Mandatos derivados) 及び声明 (comunicado) が発出され、地域における1億7000万人に上るとされる貧困削減のための協力や地域統合のメカニズム、自然災害や治安対策についての協力が進展した。

（2）15日、サミットに出席したオバマ米大統領は、サントス大統領と首脳会談を行った。同会談において、コロンビア・米 FTA 協定の発効日が5月15日に決定した他、コロンビア人の米国査証有効期間を最長10年に延長することに合意した。

2 イスラエル副首相兼防衛相のコロンビア訪問

16～17日、バラク・イスラエル副首相兼国防相がコロンビアを訪問、ピンソン国防大臣、オルギン外相らと、地政学上の関心事項の他、国際組織犯罪対策や両国の治安状況等につき意見交換を行った。

3 スペイン首相のコロンビア訪問

18～19日、ラホイ・スペイン首相がコロンビアを訪問、投資セミナー、サントス大統領との首脳会談及び歓迎昼食会に出席した。サントス大統領は、両国の特別な関係を強調しつつコロンビアが投資先として最優良国であることをアピールした。

4 中国共産党中央政治局常務委員のコロンビア訪問

22日、中国共産党中央政治局の李長常務委員は、コロンビアを訪問し、サントス大統領、オルギン外相等と会談した。オルギン外相同席の下で、李常務委員はコルドバ文化大臣と、経済・技術・文化協力に関する合意文書に署名し、3百万ドル以上の無償援助、20万ドルの災害援助資金の供与、車両の無償供与、及び水力発電技術に関する25名のコロンビア技術者に対する中国での研修協力等を約束した。2週間後のサントス大統領の中国訪問では、経済・化学・技術協力、通商の活発化、対コロンビア投資誘致、民主主義の発展等について話し合われる予定。

5 オルギン外相のハイチ訪問

24日、オルギン外相はハイチを訪問、米州サミットのフォローアップとして、エネルギー、教育、保健、衛生、インフラ、治安問題等につき、ラモット外務大臣、マヤール＝ポール内務大臣、ブルナシュ司法大臣らと意見交換を行った。

6 パネッタ米国防長官のコロンビア訪問

23日、パネッタ米国防長官がコロンビアを訪問、ピンソン国防大臣らと意見交換を行い、ヘリコプター10機の供与及びインテリジェンスに関する協力につき合意した。

7 フランス人新聞記者の誘拐・行方不明事件

28日、コロンビア南部のカケタ県にて麻薬取締部隊の作戦に同行したフランス人新聞記者1名が誘拐された。コカ精製場を摘発・破壊中、FARCとの交戦となったとされる。最終的にはトレマイダ軍基地から180人の特別部隊が救援に駆けつけ戦闘は終結したが、警察1名と軍人3名が死亡、6名が負傷した他、フランス人新聞記者が誘拐されることとなった。

【内政】

1 バジェ県知事等の汚職問題

1～26日、汚職やパラミリタリーとの癒着、酒気帯運転による自動車事故等の罪によ

り、最高行政裁判所は、バジェ、ウイラ、カケタ、グアヒラの県知事の職務執行停止を命じた。

2 FARCによる人質の解放

2日午後、FARCは、メタ県付近の密林において、コルドバ元上院議員を中心とする「平和のためのコロンビア人グループ」の仲介、国際赤十字及びブラジル政府のロジスティック支援を受けつつ、12年以上にわたり人質となっていた兵士及び警察官10名を解放した。他方、人質となっている一般人は400人以上とされており、人質となった後、10年以上連絡がなく、生死が不明のケースも多い。

3 ネバド・デル・ルイス火山活性化に対する警報

2月23日より、カルダス県にあるネバド・デ・ルイス火山が活発化する傾向が続いている。5日、コロンビア地理院（Servicio Geologico Colombiano）は、二時間おきに情報を更新している。5日現在の警報レベルはオレンジ（数日～数週間以内に噴火が発生する可能性がある）。同火山は、1985年の大噴火の際、トリマ県アルメロを中心に、泥流のため23,000人の死者を出している。

4 国内武力紛争における犠牲者に捧げる日

9日、犠牲者保護・土地返還法に基づき、国内武力紛争における犠牲者に捧げる日の第1回式典が開催された。

5 左派リベラル運動（政党）の立ち上げ

20日、コルドバ前上院議員のイニシアティブで、自由党の中に、左派リベラル運動が立ち上げられた。また、21～23日まで、同運動を支持するとされる「愛国行進」と称する団体が、ボゴタ中心地にあるボリバル広場を目指した行進が行われ、3万人以上が参加した。

6 内閣改造

26日、大統領府は、下記の通り、閣僚の交代を発表した。実際の交代は2週間後に行われる予定。

レンフィフォ大統領府官房長官が、内務大臣に就任。

バルガス内務大臣が、住居・都市・国土大臣に就任。

メサ大統領府通信高等審議官（大臣級）が、大統領府官房長官に就任。

ウリベ住居・都市・国土大臣は、現時点で、新たなポストは未定。

（了）